

学習のきまりについて

令和8年度 松山市立さくら小学校

本校では、子供たちが落ち着いた環境で、意欲を持って学習に取り組めるよう、全校で共通の「学習のきまり」を定めています。正しい道具をそろえ、自分自身で準備を整えることは、学習に向かう集中力を高める大切な第一歩です。

つきましては、ご家庭におかれましても以下の内容をご確認いただき、お子様がスムーズに翌日の準備ができるよう、声掛けと見守りをお願い申し上げます。

◇持ち物のきまり ◎すべてに名前を書く。

【筆箱の中】

○鉛筆

- ・5本～7本…家で削っておく。
- ・低、中学年は筆圧が弱いので、整った字を書けるようにB及び2Bが望ましい。高学年は、HBの鉛筆でもよい。
- ・正しい持ち方を身に付けるため、六角形か三角形の鉛筆を推奨する。
- ・シャープペンシルや頭に飾りがついている鉛筆は学習に集中しづらくなる恐れがあるため、使用を控える。係活動や委員会、クラブ等でも使用しない。

○消しゴム

- ・機能性を考え、華美でないシンプルなものが望ましい。

○定規・分度器

- ・筆箱に入る程度の長さのものにする。
- ・色付き、キアラ付きの定規や分度器を当てると、図が見えなくなる。線が見えるよう、透明なものが望ましい。
- ・折りたたみ定規は、集中力がそがれるため、使用はできるだけ控える。

○赤青鉛筆・赤青ペン

- ・下学年（3年生以下）は、鉛筆に慣れるためという観点で赤青鉛筆を使用する。上学年（4年生以上）は筆圧も強くなるため、赤ペン、青ペン、赤青ボールペンも使用してよい。多色ボールペンは3色までとする。（シャープペンシル付きのボールペンは使用しない。）

○その他

- ・鉛筆キャップは、授業中は使用せず、筆箱の中で使用する。
- ・蛍光ペンは、高学年（5・6年）のみ使用する。（2色まで）
- ・シャープペンシルが使われているコンパスは芯折れが多いため、鉛筆のものが望ましい。
- ・絵の具や裁縫セット等は、担任から指示があったときに持ってきて、学習が終わったら家庭に持ち帰り、手入れ・保管をする。
- ・学習に必要なもの以外は学校に持ってこない。

